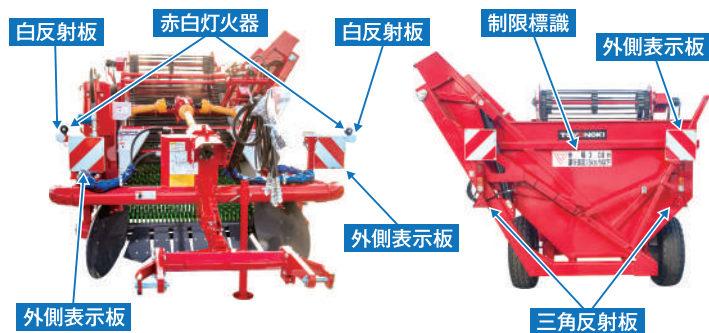


バリフローコンベヤ遠隔操作 (オプション)

標準仕様のバリフローコンベヤは、機側のスロットルチェックバルブで速度を調整しますが、このオプションを装備することで、トラクターのキャビン内から遠隔で調整でき、ノンストップで作業を続けることができます。



2021年度生産機より【公道走行対応部品】が標準装備となりました。



農耕用トラクターについて「道路運送車両法」に基づく保安基準に緩和措置が設けられ、必要な対応を行うことで、「直送タイプの作業機」と「けん引タイプの作業機」を装着したトラクターが道路を走行できるようになりました。



※装備を付けていても届け出が必要な条件もあります。詳しくは農林水産省のHPをチェックしてください。

主要諸元

型式		TSH2V25			
バリフローコンベヤ	全長	5,900mm	走行部	駆動方式	油圧モーター駆動式
	全幅	3,000mm		幅	1,250mm
	全高	2,600mm		コンベヤ	バネ鋼φ16mm ピッチ80mm
	重量	3,500kg		タイヤ	11.5/80-15.3 14Ply
掘取部	ヒッチ	リンケージドロバー JIS D6705 2形相当	トラクター	適応馬力	74~147kW(100~200PS)
	作業幅	1,840mm		PTO回転	400rpm(許容450rpm)
	作業深	最大300mm		油圧系統	外部取出 複動2系統
	ディスク	30インチ(760mm)丸形		必要流量	20L/分
折畳コンベヤ	掘取刃	6ポイントショベル	作業性能	許容最大流量	100L/分
	スターローラー	10フィンガ×7列		リリーフ圧	180kg/cm ² 以上(許容210kg/cm ²)
	オプションスパーサー幅	5, 7.5, 10(mm)		作業速度	1.4~3.8km/h
	駆動方式	油圧モーター駆動式		作業能率	0.34ha/h(作業速度2.56km/h、作業深さ250mmとして)
石タンク	幅	1,250mm	付属品等	上記値は効率73%として。作業性能は条件により異なります。	
	コンベヤ	バネ鋼φ16mm ピッチ40mm		トラクタ連動方向指示器	
	タンク	油圧ダンプ式 左排出		尾灯・低速車マーク・バックブザー	
	容量	1.4m ³ (約2.5トン)		タンク監視ミラー	
石タンク	支点高	2,130mm		公道走行対応部品	

※本仕様は改良その他により予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。
※掲載の写真は最新ではない場合がございます。

いますぐアクセス! 詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.toyonoki.co.jp>

東洋農機

検索

click!

わたくしたちは、アグリパートナーです。



東洋農機株式会社

本社 / 〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号
TEL:0155-37-3191(代表) FAX:0155-37-5399
ホームページ <http://www.toyonoki.co.jp>

小清水営業所
美幌営業所
美瑛営業所
三川営業所
倶知安営業所

〒099-3623
〒092-0027
〒071-0215
〒069-1144
〒044-0077

斜里郡小清水町元町1丁目13番11号
網走郡美幌町字稲美220番地14
上川郡美瑛町扇町232番地
夕張郡由仁町本三川674番地
虻田郡倶知安町字比羅夫60番地1

TEL(0152)62-2309
TEL(0152)73-4158
TEL(0166)92-1368
TEL(0123)86-2436
TEL(0136)22-2236

©R6.10.2.000

わたくしたちは、アグリパートナーです。



ストーンピッカー

TSH2V25



画期的機構による高性能ストーンピッカーで
高速作業性能と抜群の石礫分離性能を実現しました。

東洋農機公式YouTubeで動画を配信中!!

購入前に作業の様子を見たい!というお客様必見です。チャンネル登録をすることで更新した際に通知が行きますので、登録がまだの方は是非こちらから! ➡



当該機は農研機構と共同で特許を取得しています。

農研機構: 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の通称です。

ストーンピッカー TSH2V25



機械化が進展する中で、圃場の石礫は馬鈴薯栽培のみならず、ニンジンや汎用コンバインで豆類を収穫する際に機械の損傷や収穫物の傷・変形の要因になるなど、様々なトラブルの原因となることが多くなってきています。しかし、既存の除礫機は高価な上に作業速度が遅く、春先の繁忙期に共同で使用するにあたって多くの制約がありました。そこで、東洋農機は新栽培で培ったセパレータの技術を用いて、ハイスピードでワイドな作業幅、高い作業能率と作業精度を実現する、まったく新しいストーンピッカーをご提案いたします。



高性能のポイント

高能率の追及

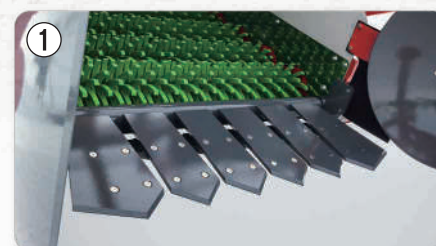
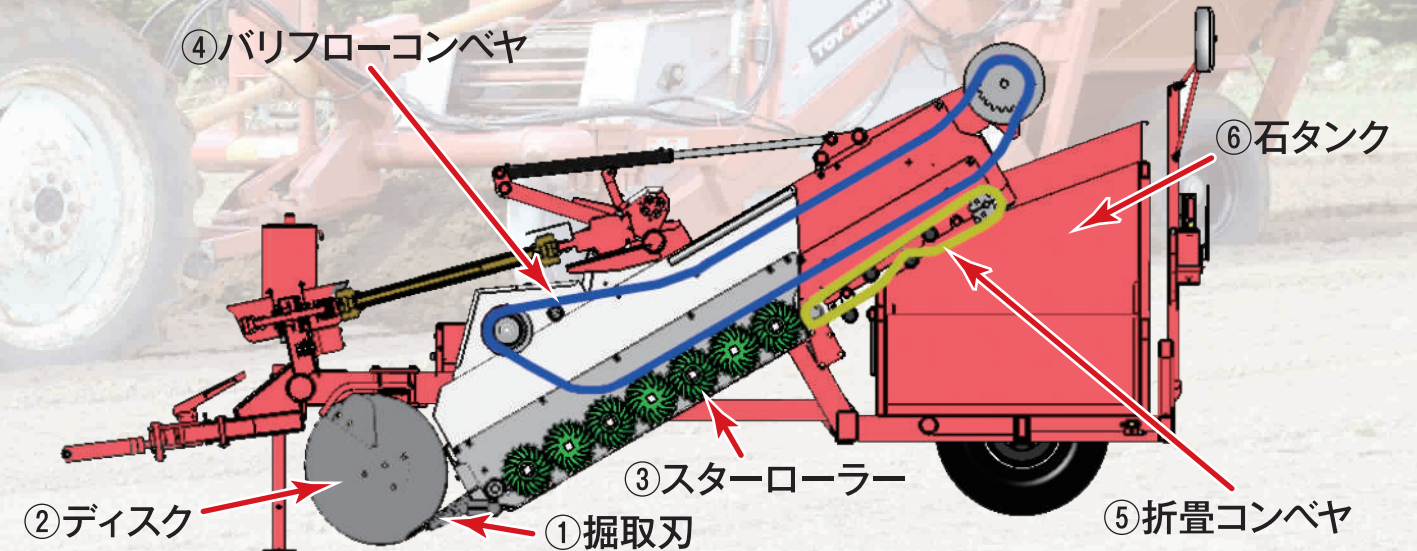
時速2.56km、作業幅1,840mm、作業深さ250mmの作業で、実圃場作業量は毎時0.34ha(効率73%として)と、既存の除礫機の作業深さ200mmの場合と比較して作業能率は約2倍に向上しております。

高い作業精度の実現

時速2.56km、作業深さ250mmの作業で、石礫割合(容積比)が作業前の7.4%から作業後に0.1%とほとんど無くなり、(25mm以上の石礫の場合)良好な作業精度を誇ります。

大容量なのにコンパクト

約2.5トン収容の大容量石タンクに関わらず全長は5,900mmとコンパクトで、良好な取り回し性を実現しました。



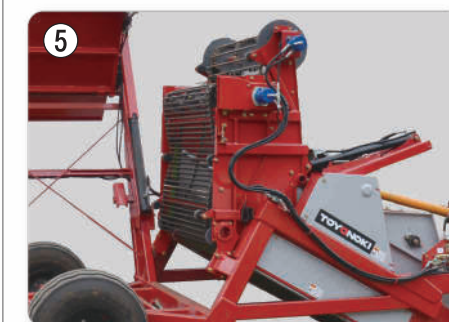
掘取刃は6ポイントショベル型で、掘取りの抵抗を少なくすると同時に、石礫が挟まりにくい形状になっております。



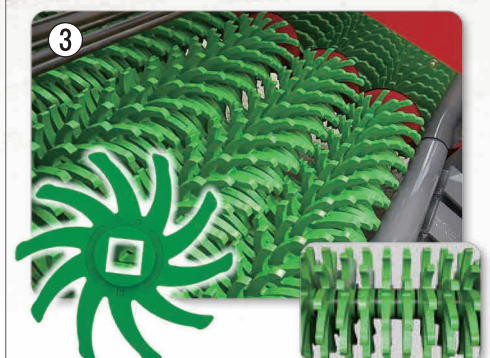
2枚の30インチ遊転ディスクは掘取り深さを決めて土寄せする機能があり、1,840mmのワイドな作業幅と最大300mmの作業深を誇ります。また、荷重を受ける軸受けには大型のテーパーベアリングを採用し、大量の土砂をスムーズに土砂分離行程に移行させることができます。



スターローラー上部にあるバリフローコンベヤは石礫と土砂・土塊との分離速度を調整する働きと、石礫をスムーズに石タンクに排出する働きをします。土塊が碎けにくい場合、コンベヤ速度を遅くして土塊をスターローラー上に滞留させ、砕土性を向上させます。また、石礫が多い圃場ではスターローラー上に長く滞留させると圃場に石が落ちやすくなるため、コンベヤ速度を速めることでスムーズに石礫を石タンクに排出することができます。コンベヤの速度調整は機体のスロットルチェックバルブで行い、圃場条件に合わせて効率良く作業することができます。



スターローラー後部にある折畳コンベヤは石タンクの中心まで伸びており、石礫を無駄なく積み込むことができます。折畳コンベヤが折畳まれた状態でない石タンクのダンパアップができない構造のため、誤操作防止も万全です。



ウレタンゴム製のスターローラーは土塊を粉碎するとともに隙間から粉碎した土砂を落とし、石礫を分離します。



1.4mの石タンクは、約2.5トンの石礫を収容することができます。タンクの支点高さは2,130mmで、3トンドンプに直接排出可能です。